最初に新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方のご冥福をお祈りし、苦しんでおられる方にお見舞い申し上げるとともに、医療機関等で必死に感染症の治療、防止に尽力いただいている方々に深く感謝いたします。

式　辞

穏やかな春の日差しの中、木々が芽吹き、花が咲き、春の香りがあふれる今日、令和２年度の入学式を挙行できますことを、職員一同、心から感謝しております。

二十二名の新入生の皆さん、入学おめでとう。(「ありがとう」)（大きな声で言えましたね。）

今日からは、久下小学校のピカピカの一年生です。皆さんが入学してくるのを六年生から二年生のお兄さんお姉さんたちも楽しみに待っていました。

今日から、立派な一年生になるために、校長先生と三つの約束をします。いいですか。

一つ目は、命を大切にするということです。

一番大切にしないといけないのは、自分の命です。命は一つしかありません。病気やけがをしないということです。明日から歩いて学校に来ます。交通事故にあわないようにしっかりルールを守って登校しましょう。そして、自分の命を大切にするのと同じように、友だちの命も、動物の命も、木や草や花の命も、勉強道具の命も、どんなものでも命を大切にしてください。

二つ目は、できることは自分でするということです。

今日の朝、自分一人で起きましたか。一人で着替えをしましたか。自分でできることは自分でします。そして、いろんなことにチャレンジして、自分でできることをどんどん増やしていきましょう。

三つ目は、友だちと仲良くするということです。

友だちと仲良くするには、うれしいことをしてもらったら「ありがとう」、困っている子がいたら「どうしたの、大丈夫？」と、ふわふわ言葉をやさしくかけてあげましょう。でも、時々けんかもします。校長先生は、仲直りの方法を知っています。それは、素直に「ごめんなさい。」ということです。謝るのです。するとすぐに仲直りができます。

この三つの約束を守れると立派な久下っ子になれます。久下っ子というのは久下小学校の子どもということと、久下地域の子どもということでもあります。

地域の宝物である皆さんを、久下地域の皆さんが見守ってくれています。学校の行き帰りに出会ったら元気にあいさつをしてください。今日からお兄さん、お姉さん、そして先生たちと一緒に頑張りましょう。
　次は、お家の人と話をしますので、少し待っていてください。

　保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日から九年間の義務教育が始まります。本校は「自ら学び、生きる力をもった児童の育成」をめざし、子どもたちが「ドンドン挑戦、ニコニコ笑顔、モリモリ元気」に活躍する学校にしていきたいと、これまでもこれからも子どもたちや先生方、地域の皆さんと一緒に取り組んでいきます。とは申しましても、昨日防災無線で放送されたように新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、週末から臨時休業となることに大きな不安があるかと存じますが、保護者の皆様と共に、子どもたちの笑顔と健やかな成長のために本校職員が一丸となって、お子様の教育に全力で努めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

　また、本日はご臨席いただけませんでしたが、地域の皆様には、平素から本校の教育活動に対し広くご支援いただいておりますことに、心よりお礼申しあげます。本日入学いたします二十二名を加え、本年度百十六名で新学年をスタートします。今後も今まで以上に、温かいお声がけ、ご支援をお願い申し上げます。

　それでは、お待たせしました。
　一年生の皆さん、明日から元気に登校してください。
　約束して、校長先生のお祝いの言葉を終わります。

　令和二年四月八日
　　丹波市立久下小学校長　大木　修